

3期宮若市子ども・子育て会議（第2回）議事録

日 時：平成31年3月28日(木)18:30～20:10

会 場：生涯学習センター「宮若リコリス」研修室1・2

出席者：三木委員（会長）、杉山委員（副会長）

古澤委員、今永委員、占部委員、蔭野委員、伊達委員、八尋委員、小島委員、
宇野委員、植村委員、吉田委員

事務局：大五民生部長、灘波民生次長

子育て支援課：松尾課長、齊藤課長補佐、松尾係長、谷口事務主査、橋本主事
学校教育課：東課長

議 題

(1) 宮若市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について（資料①、②）

(2) その他・・・H31.4の保育入所状況について

H31年度の組織体制について

・議題（1）資料①、②について事務局より報告

・委員からの意見、質問と回答

（委員）

資料① 90頁 保幼小連携の取り組みの推進について

公立幼稚園についての連携の取り組み内容が記載されていない。公立幼稚園は様々な連携の取
組みをされているので工夫して記載してほしい。

（事務局）

学校教育係に確認して工夫し記載する。

（委員）

資料① 62頁 一時預かり事業（その他）について

待機児童が多い中で、一時預かり事業の1日当たりの定員が5人で利用が難しいため、利用定員
を増やせないのか。

（事務局）

申込みの内容・保育士の数など実施可能か協議中である。

（委員）

資料① 50～55頁 一時預かり事業（幼稚園における在園児を対象とした一時預かり）

宮田南幼稚園と宮田北幼稚園でも行って欲しい。仕事をしている保護者のために拡充を検討してほしい。

(事務局)

平成 31 年度の入園児数は宮田南が 22 人・宮田北が 13 人（複式学級）となっている。

一時預かり事業を実施するには、利用人数に応じた職員の人員配置が必要となるので実施は難しいが、検討は行っている。

(委員)

資料② 旧若小跡地がマンションになるのは本当か。グラウンドがなくなり、子供達の遊べるスペースがなくなるので、どう確保するのか。遊具などない広場でよいので確保してほしい。

(事務局)

旧若小跡地の計画案としては、公園スペースが確保されているが、広さについては未定だが、子供達が遊べるスペースの確保に努めたい。詳細については、今後地元説明会などで説明されると思う。

(委員)

資料② 広い土地で公園の計画はないのか。市内の中心部などに広い公園がないので、親が一緒に行かないといけない。子供達だけで行ける距離に広場がない。

市の中心地に広場などがあると市外から親子連れで遊びに来るので、市の活性化にも繋がり良いと思う。遊具などいらないので広場が欲しい。

(事務局)

各委員（保護者）の意見として、公園の計画があった際などに各所管に伝えていきたいと考えている。

(委員)

その他 待機児童対策について

保育所によって保育士数が不足している保育園はあるのか。保育士資格取得のための対策や、保育士確保の募集方法など工夫が必要ではないか。他市町村の状況など把握する必要があるのではないか。

(事務局)

定員まで入所できていない保育園はある。原因は保育士不足である。

県で保育士確保へ向けての協議会が開催されて、先進地の紹介などもある。今後、新たな取り組みも行い、潜在保育士確保に取り組んでいく予定である。

(委員)

その他 幼稚園の利用者が減少していき、衰退しているので、様々な取り組みを行うことで幼稚

園の在り方を模索していく必要があるのではないか。例としては、2歳からの4年教育をして欲しい。

(事務局)

人員配置などがありハードルは高いが、検討を行っていく。